

# NEWS PORT

number  
13  
2001  
SUMMER

# IDEC YOKOHAMA

発行 / 財団法人 横浜産業振興公社  
〒231-0023  
横浜市中区山下町22 山下町SSKビル9F  
Tel.045-225-3700



いよいよ本格的に動き始めた  
産学連携事業

## INDEX

IDEC ニュース ... 2

メンバートピックス ... 4

(株)市場構造開発センター、神奈川県火災共済(協)、神奈川県縫製品(協)

融資制度利用事例紹介 ... 7

ハートフルタウン弘明寺

### 特集 横浜リエゾンポート 2001 ... 8

産学リエゾン広場 ... 10

技術リエゾンプロデューサーが語る上手な産学連携の進め方

経営情報 ... 12

新・分かりやすい債権管理講座、IT ビジネス時代の利益獲得方程式

海外ビジネス情報 ... 14

上海におけるソフトウェア産業の育成

熱い関心を集める「微笑みの国・タイ」とのビジネス

インフォメーション ... 16

## ネットにより情報アクセスが容易に！

会社の最新情報をどこよりも早く～「会社ホームページ」  
会社のホームページがこのほど完成、ご利用いただけるようになりました。  
会社の最新イベント情報はもちろん、受けたサービスを受けたい「ニーズ別事業案内」、メンバー企業プロフィール、会社各施設の利用案内等々、会社に関する情報をコンパクトかつわかりやすくまとめました。ぜひ一度アクセスしてみてください。



<http://www.idec.or.jp>

ものづくりのパートナー探しに～「ものネット」  
ものづくり関係者のためのコミュニティサイト「ものネット」の本格運用が始まりま



<http://www.ym-net.ne.jp/>

業におけるインターネットの活用も急速に進展しています。  
会社が提供する「ものネット」は新製品開発のための部品調達、新規取引先の開拓など、インターネットを活用したパートナーづくりに活用できる製造業者のための情報システムです。インターネット時代の「ものづくりパートナー探し」にご活用ください。  
[お問合せ：産業振興部 / 新事業育成課]

した。  
製造企業間においては、系列的取引を越え、水平的・広域的な取引が拡大しています。また企

## WTO加盟に向けて、中国の世界への挑戦

### 2001年上海経済圏情報セミナー 「第1弾 上海浦東編」開催

平成13年5月25日、上海市浦東新区経済貿易局と当社の共催で、浦東新区の投資環境セミナーを開催しました。  
講演の中で、上海市浦東新区経済貿易局長の俞先生は、「第10次5年計画(2001～2005)の実施に伴い、今後は次世代を担うビジネスの育成に向けて、世界に挑戦していかねばならない。製造業に限らず、サービス業、さらにハイテク産業、バイオ産業分野等、研究開発型企業を積極的に誘致することによって経済拡大していきたい」と述べています。  
また、誘致奨励策として、従来の企業所得税に関する優遇措置「2免3半減(当初2年間免税、以後3年間50%減免)」は、2001年～2005年に設立した企業においては、生産工場に対してのみ従来通り適用されるなど、施策の変更点を指摘しました(表1参照)。  
最後に、「WTO加盟に向けて中国は本格的に



俞 標 (ゆうひょう) 先生

動き始めたが、経済施策や産業整備等、浦東新区も今まさに過渡期にある。今後は優遇施策に関して、業種間格差をいかに是正していくか、各開発区ごとに差別化をどう図るか等課題も多いが、進出に限らず浦東に関することなら何でも相談してほしい」と加え、講演を終えました。  
新しい時代を迎え、上海浦東の経済・産業動向に関心がある方は、是非、横浜にある浦東新区の日本事務所を積極的にご利用ください。

上海市浦東新区駐日本経済貿易事務所  
所長 銭虹  
副所長 布川 一郎  
横浜市中区新港2-2-1 横浜ワールドポーターズ6階  
TEL:045(222)2063 FAX:045(222)2064

表1：企業所得税優遇措置(外高橋保稅区)

	貿易会社	貨物配送センター	生産工場	公共物流会社
1年目	1.0%	1.0%	0.0%	1.0%
2年目	1.0%	1.0%	0.0%	1.0%
3年目	10.0%	10.0%	7.5%	10.0%
4年目	10.0%	10.0%	7.5%	10.0%
5年目	10.0%	10.0%	7.5%	10.0%
6年目以降	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%

第10次5年計画(2001～2005)のあいだに設立された企業において適用。

[お問い合わせ:国際部 / 国際経済交流課]

## 税務特別窓口相談開催

決算関係書類作成のポイント、確定申告書の記入方法等について理解を深めていただけるよう税理士による「税務特別窓口相談」を開催しました。

多くの団体が3月末決算のため、確定申告書の提出(5月末まで)に向けての相談が多数を占めました。相談日当日は相談者自らが作成した申告書、決算書、元帳等を持参し、それらの資料をもとに相談は進められました。特に法人税は数ある税の中でも難しいとされていますが、税理士と直接話をするこの機会に吸収しようとする姿勢がうかがいられました。

この窓口相談は平成9年度から毎年4月、5月



窓口相談の様子

に集中的に実施してきましたが、近年の著しい経済環境の変化や税制改正等により、税務問題は年々高度化・複雑化してきているため、今年度はより相談体制の充実を図ることを目的に年間を通じて開催します。

日常業務の中で感じている問題や疑問について経験豊富な税理士による税務特別窓口相談をぜひご利用下さい。(相談料無料・予約制・秘密厳守)

【今後の日程】9月12日(水) 10月17日(水)  
11月14日(水) 12月12日(水)  
(平成14年2月13日(水) 3月13日(水))  
\*いずれも13:00～17:00

【対象】市内中小企業団体、市内に事業所を有する中小・中堅企業等

【会場】横浜産業振興公社

【担当税理士】堤 直之

(つつみなおゆき)

【出身地】横浜市鶴見区

【一言】決算、税務に関してお気軽にご相談ください。

【お問合せ:産業振興部/産業振興課】



堤 直之氏

## 横浜・ギリシャフェア2001開催

ギリシャ製品を紹介する「横浜・ギリシャフェア2001」を、平成13年5月24日から27日の4日間、横浜ワールドポーターズ・イベントホールにおいて開催しました。

このフェアは、ギリシャ大使館経済商務部、JETRO等と共に、ワイン、オリーブオイル、シルバーアクセサリ等の特産品を市内企業や市民の皆様にご紹介することを目的に開催したものです。

今回は、日本の輸入企業22社、ギリシャ企業3社が出展し商談会および展示即売を行いました。期間中、ワールドポーターズ2Fで著名な民族楽器演奏家若林忠宏氏率いるアンサンブルによるギリシャ音楽演奏会も併せて行うなど、その相乗効果もあってか、数多くの来場者が

あり、大変盛況のうちに終わることができました。

開幕式には横浜市港北区にあるギリシャ風の商店街「大倉山エルム通り商店街」の皆様もかけつけていただき、来日したギリシャの皆様との親交を深めることができました。

ギリシャ大使館からはこのフェアの成功をきっかけに横浜・ギリシャ間の経済交流を深めていくため、横浜での活動を継続的に進めていきたいとの希望が

示されました。

ギリシャ製品には食品をはじめユニークなものが多数ありますので輸入等にご関心のある方は輸入ビジネス促進センターまでご連絡ください。

【お問合せ:国際部/

国際事業支援課】



23社がギリシャ特産品を展示

# メンバー トピックス

マーケティングは「潜在意志の理解」から...

## (株)市場構造開発センター

本ページ掲載企業に関するお問合せ ▶ 産業振興部 / 新事業育成課(225-3711)

貴社の活動方針についてお聞かせください。

大量生産、消費を背景とした教科書的なマーケティングは、顧客ニーズの細分化によりその効果を上げにくくなってきています。従来とは異なるルール、視点に立った「全く新しいマーケティング手法」が今必要とされているのです。当社はこうした考えのもと、適切なマーケティング手法を世の中に提案し、企業活動、産業、社会、政策の実現に寄与することを基準に活動しています。

強力なスタッフ陣ですね。

日本マーケティングプロデューサー協会所属中核メンバーにより運営されている「専門家集団」です。国内市場、売場計画、販売拡大、海外事業、電子ネット、物流管理等の専門家で構成されています。

最近力を入れているのが海外マーケティング。

北米・欧州に関しては各地に連携している専門家があり、中国については、元著名商社北京支店長である当社社長が詳しく、現地調査が容易となっています。

マーケティングは大企業が  
大々的に行うもの、という  
印象がありますが。

中小企業、特に工業系メーカーからの要請が増えています。これら企業は従来、親会社や古くからの取引先といった「固定客」を持っていたため、自社の宣伝や営業をあまり必要と

しませんでした。しかし系列の崩壊や取引先の倒産などが相次ぐ中、あらたな市場やパートナーの開拓は避けて通れない状況となっています。

費用はどのくらいかかるもの  
なのでしょう？

当社のサービスは非常にリーズナブルです。先に触れた海外マーケティングですと、マンスリーレポート作成が16万円/月、製品・サービス売り込みは5万円/3か月となっています。各スタッフが幅広い人的ネットワークを保有しているのと、専門家としての



神戸会長による市場分析研究会

活動を通じて多くの情報を蓄積しているので、こうした価格設定が可能なのです。

クライアントにはどのような  
アドバイスを？

私の得意分野である国内市場開拓について申し上げますと、「製品の視点を変えてみる」「マーケット範囲をまったく変えてみる」ということから提案しています。初歩的アドバ

イスですが、僅か目先を変えるだけで売り上げは必ず伸長するものです。

また、商品の性能や一般目的に固執せず「コンセプト」と「感性」を前面に出した市場戦略こそ、最も重要なポイントである、と断言できるでしょう。

今後のマーケティングに関して  
思われるところは？

これからの時代のマーケティングは、「人間性と潜在意志の理解」に立った技術が不可欠です。例えば、モノ自体は大量生産品にもかかわらず、

特殊な仕掛けをすることで「自分のためだけに作られたモノ」と感じさせ、購入意欲を強くそらせる戦略や、「テーマパーク型・劇場型売場」を展開し、モノの単価以外の価値にもお金を使わせる、といった機能です。

商品が売れなくなった  
と言われるますが、欲しい

ものが無いのではなく、かなりあるのに消費者も供給者もそれに気づいていないのです。それを掘り起こすアクションは十分に改善の余地があり、われわれが活躍できる場は実に多い。マーケティング専門家として、今こそ非常におもしろい時代だと感じています。

[話:取締役会長 神戸常雄氏]

(株)市場構造開発センター 代表者:代表取締役 金丸健二  
本社:横浜市南区六ツ川 従業員数:Project制により変化。常時=5名。  
電話:045-782-4852 FAX:045-784-4840  
http://mpanet.org/mcc/ Mail:mcc@mpanet.org

### 神奈川県火災共済協同組合

本ページ掲載団体に関するお問合せ ▶ 産業振興部 / 産業振興課(225-3714)

#### 共済の弱点

共済は、不特定多数の人々に大掛かりな利用促進を訴えることができないので、テレビという映像メディアを利用することが無理な、大きな制約のなかにあります。

20年間に7回もの掛金率の引下げや利用分量配当を実施し、中小企業者の経営環境のなかのリスク(人と物の危険)をほとんどガードできるようになっていてもマスコミに振り向かれず加入率が爆発的には上がっていません。

#### 共済事業説明会を中心に

損害保険が中小企業分野に積極的に参入して来たここ数年は、自由競争、自己責任、料率競争が本当に利用者になるのかと複雑な感情がうずく時もあります。

損害保険は保険金を支払えば任務や責任を果たしたことになるのでしょうか。ですが、中小企業者の保険問題は残ってしまいます。だからこそ冷静な第三者の中小企業団体が相談にのり、資料を提供することが必要だと思えるのです。組合員の実態を把握している団体が提出する資料によって、中小企業者に不必要な経済的不安をかけるのではなく、補償額を抑え、小さな負担で適切な支払いが可能な仕組みを開発すること、突き付けられた問題点を根本

的に考えることが共済ならできます。

保険金の支払いは当事者間の問題でしょうが次に発生する事故に良い意味で利用し、企業の再建をより優先するという原則に照らして望ましい解決を求めて参りたいと思います。中小企業のための共済が進化する、中小企業団体の共済制度であり続ける意義があるはずで、毎年開催する共済事業説明会は県内の商店街、組合250団体がより密着した組織としての新しい共済

いますが、その団体にもっとも合った保障の仕方を見つけられるのも共済だと確信しています。

中小企業の経営を取り巻く環境は危機管理機能が低水準のまま改善されておらず、特段の保障制度や補償システムを備えておかねばなりません。この度、共済はそのニーズに充分応えられるように『経営に役立つ制度』に変貌しました。

経費の節減や節約は勿論のこと、営業損失をカバーする

もの、第三者や取引先への損害賠償リスクから守る中小企業者総合賠償責任、労使間の関係を円滑にして優秀な人材の確保に役立つ労働災害補償制度など、団体や組合の会員への『福利厚生事業』から『経営改善事業』に役立つ共済制度になっ

ております。もちろん事故や病気に備える制度にかわりはないわけでありまして、経営者個人の所得を守る制度もあります。中小企業者の経営はますます厳しい状況に陥り、新たなリスク管理がきわめて悪化する傾向を考えれば、新しい共済は必ず皆様のお役に立つ制度になるはずで



様々なリスクをカバーします

について協議してくれています。

#### 共済は元来無口で寡黙

得だ、安いとしゃべり続けるテレビに影響されて保険の安売り合戦が行われ、元来安いはずの共済の安さをそれ以上に求められることがあります。一方で、共済の寡黙を補ってくれる各種中小企業団体の元気がなくなってしまっ

神奈川県火災共済協同組合  
事務所: 中区北仲通り  
電話: 201-2727 FAX: 201-6154

代表者: 瀬尾隅弘  
組合員数: 63,997

### 組合のもつ求心力

経営環境の回復が未だ伸び悩む中で着実に組合員数を増やし、活発な事業展開を見せる組合があります。神奈川県縫製品協同組合は苛酷な対米繊維輸出規制の最中にある昭和31年に設立され、「繊維業界の発展」という共通の目的のもとでファッション型繊維内異業種の人々が一致団結し、今日に至るまでの45年間の好不況の波を乗り越えてきました。

県内の繊維関係団体数は27、その中には10年前に比べ会員数が半減している団体もみられます。縫製品組合の組合員数は82社(賛助会員含)、各組合員の取扱品は紳士婦人服やスカーフ、ネクタイ、ユニフォームなど様々、また業態では製造、販売、卸から商社と多種多様です。

では、それだけの組合員の方々を引きつける魅力に迫ってみましょう。

### かながわ出会いの広場

縫製品組合には4つの部会と1つの委員会が組織され、各々が活発な事業を展開しています。その中の事業のひとつ「かながわ出会いの広場」では、毎月1回、講師を招いての勉強会を設けていますが、テーマはファッション、芸術から経営、福祉といった幅広いもので、参加者も組合員に限らず広く関係者を募りコミ

ュニケーションの促進を図っています。異業種連携組織ではこうした出会いが新たなビジネスを生み出すきっかけにもなるのでしょう。

この「出会いの広場」の始まりは昭和56年、当時事業を立ち上げた現理事長の金原氏や事務局長の中村氏をはじめとする方々は、10年、20年先の時代を見つめて若い後継者の方々と接してきました。当時の後継者の方々は20年後の現在、縫製品組合の中心的役割を担っています。

### 横浜発のブランドを



アジア繊維業界を視察

繊維業界においても、最近のユニクロの台頭やセーフガード申請からうかがえるように、その厳しさは増すばかりと言えましょう。縫製品組合では、平成11年に上海、昨年は韓国や中国・大連、そして今年4月香港へと視察研修を行っており、常に最新の情報を収集し、またそれを組合員に対し発信するという情報基

地局としての役割を果たしています。

「アジアの産業を視察してきましたが、驚くべき速さで変貌を遂げていますね。そして、その成果は確実に日本の消費者に受け入れられています。ならば私たちは、あちらの商品にはない、消費者の求める個性ある商品をつくれればよいのです。私たちは生産者であると同時に一方で消費者でもあるわけですから、消費者の視点にたったのモノづくりを行うのです」(中村邦雄事務局長)

その精神は組合のオリジナルブランド「ムエット」からも感じ取れます。ムエットは仏語で「かもめ」の意味、そしてかもめは神奈川の指定鳥です。横浜発のブランドとして、そして次なる時代への飛躍を続ける神奈川県縫

製品協同組合にとって、実にふさわしいネーミングといえるでしょう。



「ムエット」のロゴマーク

神奈川県縫製品協同組合

理事長:金原 正和

所在地:横浜市中区太田町

組合員数:82社

電話:681-6495 FAX:681-7747

## 利用事例紹介

### 21 世紀の街づくり

#### 「ハートフルタウン弘明寺」

京急弘明寺駅と市営地下鉄弘明寺駅を繋ぐ横浜弘明寺商店街は、南区の中心的な商店街として知られています。商店街内の120店舗で構成されている横浜弘明寺商店街協同組合が平成11～12年度に「横浜市産業開発資金」を利用して行った環境整備事業(アーケード改築、カラー舗装、サイン施設整備、人道橋設置等)が完成しました。

#### 地域に親しまれる

事業のきっかけは周辺環境の変化と施設の老朽化。当商店街周辺には、近年上大岡駅周辺再開発事業を始め大型店の出店が相次いだ。築後40年以上経過したアーケードは老朽化が著しく、災害時の危険性も大きく商店街としては危機感を感じるのみならず、近隣大型店と競合していく上での商店街活動の実施に不釣り合いになってきました。そのため平成6年に「街づくり委員会」を発足し「新しい時代における当商店街の役割」を念頭に話し合いを重ねてきました。

当商店街は古くから弘明寺観音の「門前町・下町」として知られ、来街者だけでなく参拝客からも親しまれてきました。また商店街の中間点を流れる大岡川沿いには遊歩道が整備されており、近隣住民の憩いの場としても重要な役割を果たしています。

そのようなことから、ただ商店街をきれいにするだけでなく「人に優しく、地域に親しまれる商店街」を目指し、環境整備事業を実施することになりました。

#### 人にやさしく

平成11年7月よりアーケードの撤去が始められました。約2年間にわたる工事期間中には、交通規制や夜間工事の騒音等の苦情など、様々な問題に直面しましたが、組合員の熱意を持って取り組んできました。佐野理事長は「苦情もありましたが、新しいアーケードへの期待の声も多かったです。」と語っています。

平成13年3月、今回の環境整備事業が完了しました。アーケードは、明るいだけでなく、最新の防火設備を備えており、火災等の被害を最小限に押さえることが出来ます。段差の解消された通路は安全な買い物空間を創出するだけでなく、これからの福祉社会にも対応しています。

公募により「さくら橋」と名付けられた人道橋は、例年より早く満開になった桜並木に囲まれて披露され、早速買い物途中に腰を掛け花見をする人や家族連れで賑わっていました。「人に優しく、地域に親しまれる商店街」

への土台は整えられました。

#### 新たな時代へ

4月下旬に行われた竣工イベントでは、今回の環境整備事業に合わせて作成したイメージソングが披露されました。地元南区在住の作曲家に依頼したこの曲は、商店街のイメージアップの一助となっています。

またアーケード内2ヶ所に設置された文字情報施設からは商店街や地域の情報だけでなく、公共機関等の情報も流れており、様々な情報の発信源として常に人の目を引いています。

今後は来街者の利便性向上や地域経済の活性化だけでなく、イベント等のソフト事業の充実を図ることで「地域の中の商店街」として、人と人を繋げる役割を果たしていくことでしょう。

イメージソングの中に「マイハートフルタウン弘明寺人を繋げる橋の町～」という歌詞があります。21世紀の幕開けの年に、横浜弘明寺商店街の新たな時代が始まりました。 [お問合せ:産業振興部/融資事業課]

弘明寺かんのん通り

